

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年09月16日

計画の名称	指宿市役所周辺 安全・快適で安心して暮らせるまちの創出（防災・安全）												
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	指宿市												
計画の目標	土地区画整理事業の手法により、安全・快適な歩行空間を確保した市役所を中心とした新たな生活拠点の整備を行い、安心して暮らせる都市を目指す。 浸水地域の面的嵩上げを行い、防災性を向上させる。 二月田駅前広場と駅前周辺のバリアフリー化を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	810	A	810	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	R2末
1	地域防災計画で浸水地域に指定されている地域の防災対策目標として、浸水リスクを解消した宅地の割合を21%（H28）から54%（R2）へ拡大。 施行地区内において浸水リスクを解消した宅地の割合を算出する。 (浸水リスクを解消した宅地面積の割合) = 浸水リスクを解消した宅地面積（評価時） / 宅地面積（施行後）（%）	21%	35%	54%
2	車椅子利用者の移動における安全確保と利便性向上を実現する成果目標として、車椅子利用者が移動する際に障害となる箇所へのバリアフリー対策実施率向上。 (車椅子利用者が移動する際に障害となる箇所のバリアフリー対策実施率向上) = (施行地区内の都市計画道路において段差を解消した箇所) ÷ (バリアフリー新法施行後に整備をしている市内の都市計画道路において車椅子利用者の移動の障害となる段差のある箇所)（%）	13%	28%	35%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	指宿市	直接	指宿市	区画	改築	十町地区((都)弥次ヶ湯通線外)	区画整理 A=32.9ha	指宿市						810	1.79	-
											小計						810		
											合計						810		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 指宿市都市・海岸整備課	事後評価の実施時期 令和4年度
	公表の方法 指宿市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	宅地造成を行い、浸水リスクのあった宅地について、そのリスクを解消した割合を計画通り拡大させた。 都市計画道路について、段差を解消するための整備を行い、バリアフリー対策実施率を向上させた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	道路・宅地整備により、周辺地域の安全性・快適性が向上したことから、宅地の利用増進が図られた。 都市計画道路である庁舎湯山線と弥次ヶ湯通線において、施工地区内の歩道整備が概ね完了し、歩行者の安全性が確保された。
特記事項（今後の方針等）	
引き続き、指宿市役所周辺（十町）地区の整備を行い、施工地区内の安全性・快適性の向上を目指す。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	浸水リスクを解消した宅地の割合	
	最終目標値	54%
2	バリアフリー対策実施率	
	最終目標値	35%